

## キーワードは「ねがい」 あなたもぜひ京都へ



全国大会（京都）準備委員長

NPO 法人福祉広場 池添 素

50回京都大会のキーワードは「ねがい」。わたしのねがい、あなたのねがい、みんなのねがいを集めてみたら、「あんなねがい」や「こんなねがい」がワンサカ出てきました。そこには、学校の先生にわかつてほしい「学びへのねがい」や、いっぱい楽しいことをして生きる「暮らしへのねがい」や、どこで誰と暮らすかも大切と「人生そのものへのねがい」など、一人で考えているだけでは思いつかないねがいがいっぱい出てきました。まさに自分のねがいを「プラスワン」することにつながります。

「当たり前だと思っていたこと」が「もつとねがつていいのだ」との気づきは、「その人らしく」の「らしく」をバージョンアップさせてくれます。さまざまな年代のみなさん

にインタビューして全体会の文化行事「Plus1 action」に結実しました。自分のねがいや、子どものねがい、仲間のねがい、同僚のねがいをイメージしながら観てください。

### 一人のねがいをみんなのねがいに

45年前、障害児入所施設に働き始めた頃の私は「障害者施設で働きたい」というねがいが叶って張り切っていました。しかし「あれもしたい」が「それはダメ」と、あっさり新人の提案が却下されへこんだことを思い出します。それから、一人でねがつても実現できない、いろんな人の大きなねがいにして立ち向かわないと叶わないのだと学んだのもこの頃でした。そのねがいは全障研と出会うきっかけでした。ねがいがなければ全障研との出会いはなかったでしょう。期待通り、全障研

ねがいを理解するためには発達を学びたい期待に全障研は応えてくれました。「ねがいがわからず困っている人」の道しるべに「みんなのねがい」がありました。職場や地域での「困った」「どうしよう」にはサーキルを立ち上げ、悩みをもち寄り話し合いました。夏には全障研全国大会が開催されて50回を重ねてきました。今年は22年ぶり、3回目の京都大会です。

あなたのねがいをもち寄り、子どもたちやお母さんたちのねがいに寄り添い、仲間のねがいに共感し、あなたのねがいもPlus1される京都大会でお会いしましょう。

（いけぞえ もと）

### あなたのねがいもPlus1

ねがいを理解するためには発達を学びたい期待に全障研は応えてくれました。「ねがいがわからず困っている人」の道しるべに「みんなのねがい」がありました。職場や地域での「困った」「どうしよう」にはサーキルを立ち上げ、悩みをもち寄り話し合いました。夏には全障研全国大会が開催されて50回を重ねてきました。今年は22年ぶり、3回目の京都大会です。

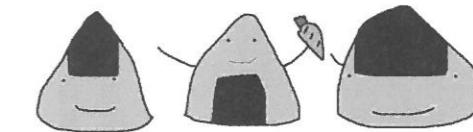
## 京の町を巡る

【特集】

# ねがいを Plus+1 プラスワン ～おこしやす京都へ

「京都といえばなにを思い浮かべますか？」

今年の全国大会は、京都で開催されます。特集では、北から南まで、京都の面々が勢揃い。それぞれの思う京都の魅力、実践や歴史を語ってもらいます。歴史を学び、京を巡る一冊。さあ、この一冊をもって、京都へ行きましょう！『みんなのねがい』をPlus1。そうすれば、大会がもっと楽しくなるはず。あなたも京都の魅力に触れてみませんか？



### 《全国障害者問題研究会 第50回全国大会》

8月6日（土）全体会 国立京都国際会館  
8月7日（日）分科会・学習講座 龍谷大学深草キャンパス

記念講演 尾藤廣喜さん（弁護士）

「平和的生存権をかけて～当事者から学んだ40年の歩み」  
52の分科会、5つの学習講座で充実の学び！

